

# 事務事業の見直しなどを答申

## 行政改革推進委員会

月瀉村の行政改革大綱が三十日決まりました。七月二十一日村行政改革推進委員会(市島重一会長)に諮問、十月二十一日に答申があり、これをうけて三十日村議会の全員協議会に策定案を説明了承されました。

今回の行政改革は国、県、市町村とも厳しい財政事情にあるため自治省が示した「地方行革大綱」を視点として六十二年度までの三ヶ年で実施する当面の措置事項は、

- 一、事務事業の見直し
- 二、組織・機構の簡素合理化
- 三、給与の適正化
- 四、定員管理の適正化
- 五、OA化等事務改革の推進
- 六、会館等公共施設の新設

の六項目を検討しました。

具体的内容

住民福祉事業として

- 一、社会環境がかわり高令化社会にのったこと、国、県も敬老会対象年令の引き上げを行っていることなどにより本村も対象年令を段階的に七十五歳に引き上げていく。
- 二、老人に対する牛乳扶助を家庭の生活環境などを考慮し効果の向上をはかる。
- 三、保育園児の教材について父兄か

ら一部負担をお願いするとともに保育料についても国基準に近づけて適正化をはかる。

- 四、月寿荘の風呂を隔日給湯に変更する。

教育事業として

- 一、小学校児童の電車通学をバス通学に変更に通学時間帯の大巾な変更とならないよう充分な配慮をしていくこと。(大別当曲通地区と協議後実施)
- 二、学校給食費に直接加工する光熱費を積算し、近隣町村の基準額を参考にした適正額に改める。

補助事業として

- 一、家畜伝染予防対策事業は全域に補助効果の及ぶものとの均衡を考慮し効率的なものに改める。

組織・機構の簡素合理化として

- 一、消防団定員を現在の百六十二人から百三十二人体制に見直しを進める。
- 二、住民健康づくり協議会、水道運営委員会の委員数の見直しを行う。

職員の見直しとして

- 一、職員の特殊勤務手当の適正化をはかる。
- 又給与、定員については、ラスパイレス指

数が九二・三%であり、近隣町村と比べても高い水準にはなく、定員も類似団本などと比較して少ないこともあり省事務改善として

- 一、今後統一的にOA化を図ることとし、公共施設の管理には民間委託などをすすめることをはかる。
- 二、などが主な内容であり答申では今後人口の高令化、高度情報化社会への移行、村民の価値観の多様化に対応し活力ある地域社会の形成、住

### 藤村良平氏に感謝状

村では、前白根地区交通安全協会月瀉支部長の藤村良平氏に感謝状を贈りました。

同氏は、交通事故死ゼロ一千日の原動力になるなど、多年にわたり村の交通安全運動の先頭に立ってこられたもので、先日支部長交代を機に感謝状を贈ったものです。

現在も同支部の理事のほか、村の交通安全指導員として、交通安全運動に活躍されています。

### 選挙管理委員会 委員に山田氏

選挙管理委員会の滝沢峰一氏が、一身上の都合により十月三十一日退職されました。

これに伴い、補充員の山田一二三氏が十一月一日、選挙管理委員会委員に就任いたしました。

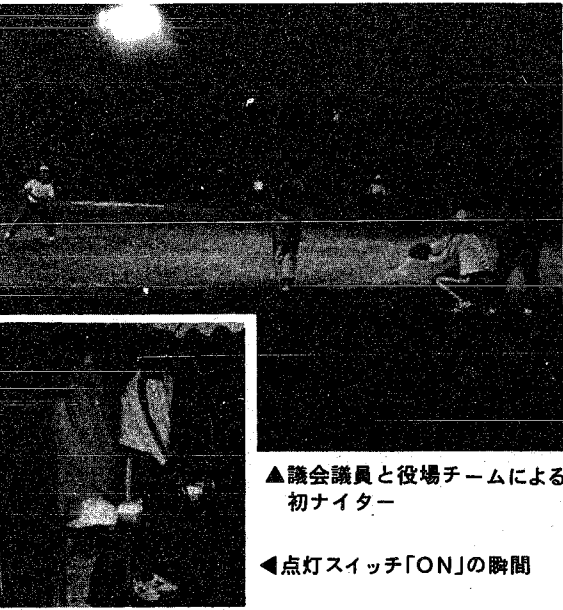
### 工業再配置促進費補助事業

## 月瀉村野球場にナイター施設完成

村では「豊かで住みよい村づくり」の一環として地域住民の健康維持増進及び健全なる心身養成を図ろうと、野球愛好者の要望にこたえ、工業再配置促進費補助事業(通商産業省)により、野球場にナイター施設と、管理棟の新設工事を進めておりましたが、

この程両施設が完成し、去る十月三十日、ナイターの点灯式が開催されました。

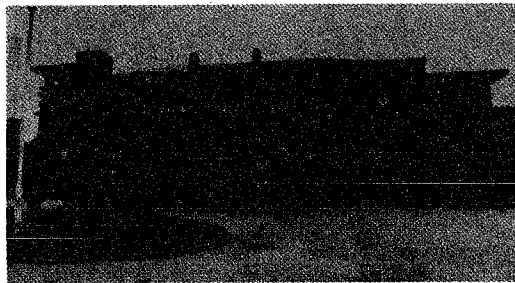
また、完成を記念し、議員と役場チームによるソフトボールの親善試合が行われ、ナイター施設の完成を祝いました。



▲議会議員と役場チームによる初ナイター

◀点灯スイッチ「ON」の瞬間

## 先人の歩みを見直そう



総理大臣官邸



今年には内閣制度ができて、ちょうど百年になります。一八八五年(明治十八年)十二月二十二日に、伊藤博文が初代の総理大臣に就任して以来、現在までに七十二代の内閣、四十五人の総理大臣が生まれています。

この歴代内閣の中で在任期間の最も長かった内閣をご存じですか。桂 内閣(桂 太郎総理大臣)です。明治三十四年六月に第一次内閣が発足し、途中、西園寺内閣がありました。大正

二年二月の第三次内閣の総辞職まで通算して七年十一月、二千八百八十六日の長期にわたって政権を担当しました。その間、日露戦争などがありました。

またこの桂内閣に対して、連続して長期政権を担当したのが、佐藤内閣(佐藤栄作総理大臣)で、昭和三十九年十一月に第一次内閣を発足させてから、昭和四十七年七月七日の第三次内閣の総辞職まで七年八か月、二千七百九十八日に及びました。日韓条約を結んだり、沖縄返還の実現などがありました。

明治、大正、昭和の三代にわたって百年の歳月を経た日本の内閣制度。この機会に先人の歩みを見直してみたいかがでしょうか。

### 記念行事

#### 記念貨幣の発売や資料展示など

内閣制度創始100周年に当たる12月22日には、記念式典、祝賀会が総理大臣官邸で行われます。

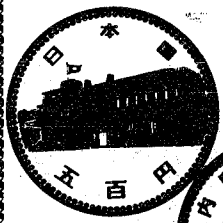
また、記念貨幣(硬貨)、記念郵便切手が発売されます。

記念貨幣は500円白銅貨で、表は総理大臣官邸、裏は内閣の公印をデザイン化したものです。

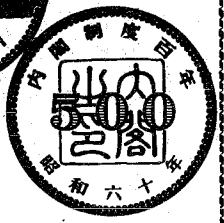
そのほか、内閣制度100年史などの刊行、記念資料(公文書など)の展示、記念映画の製作などが企画されています。

#### 【内閣制度創始100周年記念貨幣】

表



裏



<実物大>